

平成27年度 医動物・食品中異物検査のまとめ

医動物担当では、人の健康を害したり、不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。平成27年度の食品中異物検査実績は、11件で、すべて昆虫類でした。

内訳は、コウチュウ目が4件、ハエ目3件で、ゴキブリ目、カメムシ目、ハチ目、その他が1件ずつでした。今回は、同定結果の詳細を報告します。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
パスタに虫が混入していた	 成虫、茶褐色、3mm	コナナガシクイ (コウチュウ目)	麦、米、トウモロコシなどの貯穀類、ナッツ類、乾麺、ビスケットなどの加工食品など、でん粉を含む多くのものを食害する。世界共通種である。
肉まんから虫が出てきた	 成虫、褐色、約2mm	ヒラタムシ科 <i>Cryptolestes</i> 属の一種 (コウチュウ目)	ヒラタムシ科の多くの種は朽木、樹皮下に生息する。 <i>Cryptolestes</i> 属の種は貯穀害虫で、穀粉などを食害する。体が平たく微小なため、袋の縫い目などからも侵入しやすい。
冷凍小龍包に虫体が混入していた	 成虫、茶褐色、2.5mm	コウチュウ目の一種 (コウチュウ目)	コウチュウ目は種類が多く、日本では約一万種以上の種類が知られている。貯蔵食品害虫として知られる種も多く、その食性も広い。
パンに虫体が混入していた	 成虫、茶褐色、3.5mm	コウチュウ目の一種 (コウチュウ目)	同上
食パンにウジ状の虫体が混入していた	 サナギ、茶褐色、6mm	ヒラタアブ亜科の一種 (ハエ目)	幼虫は脚が無くウジ状でアブラムシ類を捕食する。成虫は花の蜜を吸う。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
鶏肉に虫が付着していた	 成虫、黒色、2mm	チョウバエ科の一種 (ハエ目)	夜に活動し、昼間は発生源近くの物陰などに休止している。幼虫は家屋内では浴室や台所の排水周り、下水管など腐植質が豊富で多湿な環境から発生する。
ピクルスに幼虫が混入していた	 幼虫、乳白色、10mm	ミバエ科の一種 (ハエ目)	幼虫は食植性で、果実に潜む種が多い。幼虫はミカン科、ウリ科、キク科など、多くの植物の果実や花蕾、茎、葉などに潜り、虫こぶを形成する種もある。重要な農業害虫を多く含む。
缶詰に虫が混入していた	 幼虫、黒褐色、9mm	チャバネゴキブリ (ゴキブリ目)	小型のゴキブリ。飲食店、ビル、事務所などに生息し、気温の低下がない場所では冬季でも活動が見られる。雑食性であらゆる物を食害する。世界各地に分布する。
弁当に虫がみられた	 成虫、黒色、9mm	クロホシカメムシ (カメムシ目)	地表性で植物の根ぎわや石の下で生活しているが、イネやダイズなどを吸収することもある。
ご飯にアリが混入していた	 成虫(働きアリ)、黒色、9mm	クロオオアリ (ハチ目)	開けた場所の乾燥した地中に巣をつくる。巣口は地表に直接あける。畑や林道、住宅地や公園など都市部にも多く生息する。
アーモンドに異物がみられた	 脱皮殻、マユ、褐色、10mm	昆虫類の蛹の脱皮殻とマユ	昆虫では、特にチョウ目のガ類の一部で、絹糸の繊維質のマユがみられる。チョウ目の他にも、アミメカゲロウ目やハチ目などもマユを作ることがある。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】